

週刊新社会

12月18日



2018年号外
野田市版

振替 00140-0-149727 1ヵ月 600円 1部 150円 41円
http://www.sinsyakai.or.jp/
発行所：新社会党 E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3F Tel. 03-6380-9960 Fax. 03-6380-9963

本紙今週号の4面の消費
税問題はおさなみ前議員が
書いています。ご笑覧を！

オンブズマンが昨年冬の中学校灯油代で監査請求 エアコンを使わず高コストのストーブを使わせた

野田市民オンブズマン（皆川純磨代表）は11日、エアコンが導入されている中学校の冬季暖房に石油ストーブを使わせ、支出した灯油代とエアコンの燃料代の差額を教育長に補填させる住民監査請求を起こした。

野田市と教育委員会は学校エアコン導入に当たり、ガス式、電気式のコスト比較を行って、より安価な設備を導入したと主張。しかし、教育委員会は昨年5月、学校空調設備運用指針を策定し、その中で冬の暖房はコンピュータ教室を除き、

石油ストーブを基本とするとした。そのためせっかくエアコンが設置されたにもかかわらず、コスト高となる石油を購入して第一中学校の暖房で386,986円の支出を行った（全中学校では3,160,921円）。第一中学校に設置されたガスエアコン運転にかかる費用はその45.45%とされるので、差額の175,885円が損害額（全校では1,582,750円）であり、それを教育長が補てんすること、及び教育長に教育委員会の組織統治の改善を勧告することを求めている。

この監査請求に対する陳述は、1月22日（火）10時から市の陳述、午前11時から請求人の陳述がそれぞれ予定されている。

なお、石油ストーブ使用問題は議会でも小室美枝子議員が取り上げた。

しかし、生涯学習部長の答弁では、現在のエアコンのエネルギー効率に対する認識がなく、灯油の方が低廉だという思い込み、石油ストーブ使用を基本とした指針（通知）を出したのではないかとの疑念は晴れなかった。

なお、今年度の暖房はエアコンを基本とするとの指針に変えたと答えた。おそらく市民オンブズマンの問題提起がなければ、これすら変わらなかったであろう。

エアコンコスト 鎌ヶ谷市では電気式が実際は低廉 —12月議会で答弁

野田市の空調設備問題を知った伊藤仁鎌ヶ谷市議が来野して、市民オンブズマンから説明を聴取し、鎌ヶ谷市議会で取り上げた。

鎌ヶ谷市は小学校の空調工事を2014年度に、中学校は15年度に行っている。運用開始はそれぞれ翌年だが、その答弁の中で1教室当たりの工事は250万円とあったが、6月野田市議会での答弁では鎌ヶ谷市は356万円とされており、100万円以上の違いが出た。野田市の計算間違いなのか究明が必要だ。

また発注方式も異なり、同一学校でも機械設備工事と電気工事に分離発注され、中小工事店も下請けではなく元請けとして工事をしている。落札率は野田市がほぼ99%台だったが、鎌ヶ谷市では95%台から96%台であった。

そして電気式とガス式のコスト比較では、鎌ヶ谷市は耐用年数を13年として計算してガス式がトータルコストとして安いとの判断で、都市ガスエリアはガス式、それ以外は電気式を導入している。

しかし、伊藤仁議員から設計時

のコスト比較と、3年余り運転した実績ではどうなのかと答弁を求めると、ガス式の西部小学校と電気式の道野辺小学校の例を取り、学校規模の格差をなくすために1㎡あたりに換算して生涯学習部長が答えた。

それによるとトータルコストの年平均はガス式で4559円、電気式は3502円となり、電気式の方が安いとのことだった。計算通りにはいかないことを認めた。

一般質問には 14 議員が登壇 もっと地に足がついた質問を

15 人の議員が一般質問通告を行い、そのうち一人が病気となったため 14 人が実際に行った。

新聞報道もされ関心が高まった東海第二原発事故における広域避難として水戸市民を野田市が受け入れることについて（3 会派）や、

市長の東海第二原発再稼働反対の真意（2 会派）が問われた。

臨時国会で強行された水道法改正に対する野田市の対応も取り上げられた。

さらに正規保育士採用に関することや 2 人の議員から学童保育

の職員配置基準を国が撤廃すること、また会計年度任用職員制度が始まる中、学童保育指導員はどうなるのかと問われた。

また、新元号対応について 2 会派の議員から問われた。教員の部活指導も含めた負担軽減策も取り上げられている。

一面で取り上げた空調設備下での石油ストーブ使用問題も追及されている。

コンビニでの各種証明書の発行事業（マイナンバーカードがらみ）や、認知症対策、災害時の避難対策、児童虐待問題も質問された。櫛のホールの駐車場不足も対策を求められた。

国保料のさらなる引き下げと滞納者対策、介護人材確保なども取り上げられている。

追加議案 8 件、請願 1 件、陳情 2 件が提出

議員や市長などの特別職、一般職員の年間ボーナスの引上げや、職員の給与引き上げ議案と、人件費引上げが影響する各会計補正予算案が提出された（表 1 参照）。

ボーナス（期末手当、勤勉手当）の年間月数は 4.40 か月分から 4.45 か月となる。

星野議員が紹介議員となった教育関係の請願は、ゆきとどいた教育をもとめる野田連絡会から出され、市独自の教職員配置の拡大や保護者負担の軽減、全小中学校に特別支援学級の開設を求めている（1571 名の署名付き）。

陳情 6 号は議会に提出する陳情

や請願は提出者の考えがうまく伝わるように、記入様式の工夫改善を求めるもの。

陳情 7 号は二川中学校に近い地域の排水状態の改善を求めるもの。

正規保育士等を募集中

4 月 1 日採用をめざして、野田市が保育士（中級）7 名程度と任期付職員保育士 6 名程度を募集中だ。応募締切りは来年 1 月 8 日まで。詳細は市のホームページや人事課まで。

野田市・愛宕両駅の駅舎イメージ発表

野田市駅と愛宕駅の駅舎のイメージ図を野田市が発表した。すでに 12 月 15 日付の野田市広報一面に掲載され、市のホームページにもアップされている。

市の魅力アップに貢献できるか、駅周辺の改善だけではなく、市全体のイメージアップにつながるまちづくりが問われている。

表 1 追加議案と陳情

議案第 18 号	市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
議案第 19 号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正
議案第 20 号	平成 30 年度一般会計補正予算（第 6 号）
議案第 21 号	平成 30 年度国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）
議案第 22 号	平成 30 年度下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）
議案第 23 号	平成 30 年度介護保険特別会計補正予算（第 3 号）
議案第 24 号	平成 30 年度次木親野井特定土地区画整理事業特別会計補正予算（第 1 号）
議案第 25 号	平成 30 年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）
請願第 1 号	子供に行き届いた教育を求める請願
陳情第 6 号	陳情書や請願書の記入様式の工夫改善を求める陳情
陳情第 7 号	親野井 157 番 2 地先交差点周辺の下水・排水整備に関する陳情

議会最終日は
21 日（金）
午前 10 時から